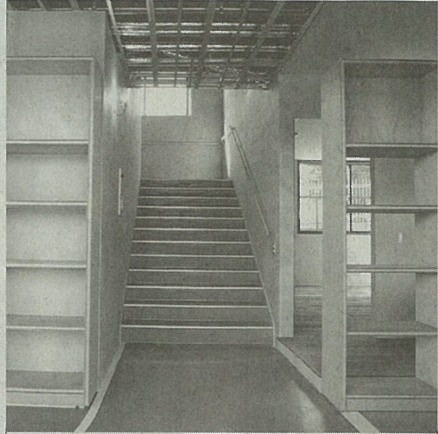


加和太建設（三島市）が不動産ごとの特長を生かしたリノベーション事業に力を入れている。三島市内では幼稚園を20、30代向けのシェアハウスに、長泉町では企業の独身寮を漫画8000冊を共同スペースに配した学生向けマンションに改築。共に3月から入居が始まる。ユニークな企画で他社との違いを打ち出し「シェア」物件の提案で地域活性化を目指す。

2013年に移転・閉園した幼稚園を改築した「class room」は、(クラスルーム)は、加和太建設が約1240平方メートルの土地を含む3階建ての建物を取得。15年に改築を始めた。専有部

# 不動産 ユニークに変身

## 加和太建設、リノベーションに力



「class room」は階段など各所に幼稚園の雰囲気を残す設計とした

は約14〜22平方メートルの全13みで月額6万4000円。50平方メートル超のダイニングキッチンやリビング、2つの浴室と4つのシャワールームなど共用部を充実。屋上からは富士山が一望できる。賃料は電気や水道、駐車場込

成長する」コンセプトを打ち出す。1月には「授業参観」と名付けた、設計やデザインを担当した専門家を囲む会を開催。地域住民の関心を高めながら、物件のブランド力を引き上げる狙いだ。

「ブックベイス」は、バブル期直後の1991年に建てられた5階建ての独身寮のリノベーション企画と運営を担当する。加和太建設が古書大手の「ブックオフ」から9000冊を購入し、約70平方メートルの旧社員食堂に配置。その大半を漫画とし、蔵書の入替えも行う。駅前に大学がある三

### 幼稚園 ▶ 設備充実のシェアハウス

### 独身寮 ▶ 漫画部屋付きマンション

島駅徒歩14分の立地を生かし、手狭だが「漫画喫茶があるマンション」として学生にアピールする。賃料は共益費込みで月額4万4000円から。

少子高齢化や企業経営の変化で、不動産活用ニーズは高まっている。加和太建設の不動産事業の売上高は約4億円で管理業務が中心だが「地方都市でシェアする仕組みを提案し、県東部に新たな経済圏を作りたい」(事業統括の川合弘毅取締役)。今後は不動産以外の事業にも参入する計画で、大都市部に比べてシェアビジネスの普及が遅れている県内の動きとして注目を集めそうだ。